

徳島県西部におけるゲリラ豪雪による停電と復旧への取り組みについて



1. 降雪および設備被害の状況

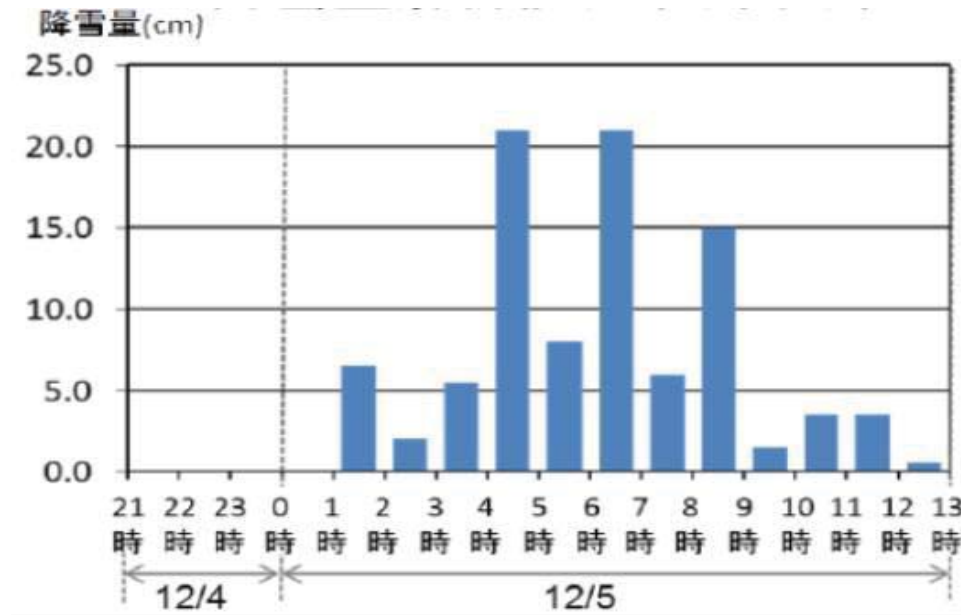
(1) 降雪の状況

四国では平成26年12月5日未明から、強い冬型の気圧配置の影響で山間部を中心に降雪があり、特に徳島県西部地域においては、約50年ぶり※に50cmを超えるゲリラ豪雨とも言える大雪となった。

12月上旬に大雪となった原因は、平年より高い海水温の影響で、瀬戸内海上の大気中の水蒸気が多くなり、雪雲が発達しやすい状況にあったためと考えられており、水分を多く含んだ重い雪質の特異な大雪となった。

(※昭和43年2月：徳島県三好市池田町で55cmを記録 [出典：四国災害アーカイブス])

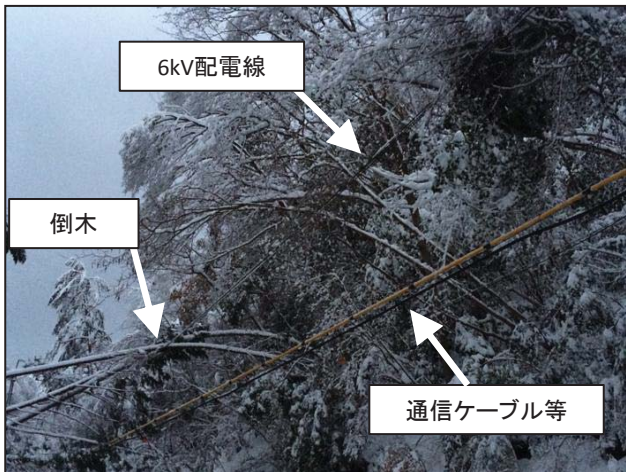
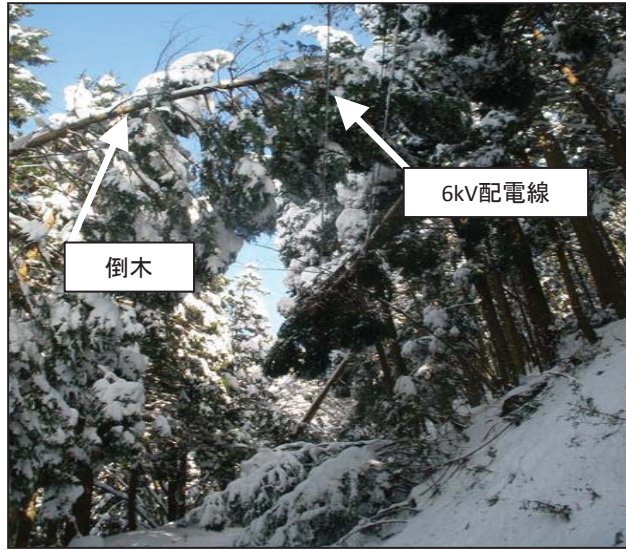
(図) 降雪量解析値（愛媛・徳島県境付近（四国中央市川滝））



(出典：国土交通省四国地方整備局ホームページ)

(2) 配電設備被害の状況

支持物 (基)		電線 (条径間)	
倒壊・折損	傾斜	断線	混線
70	23	233	509

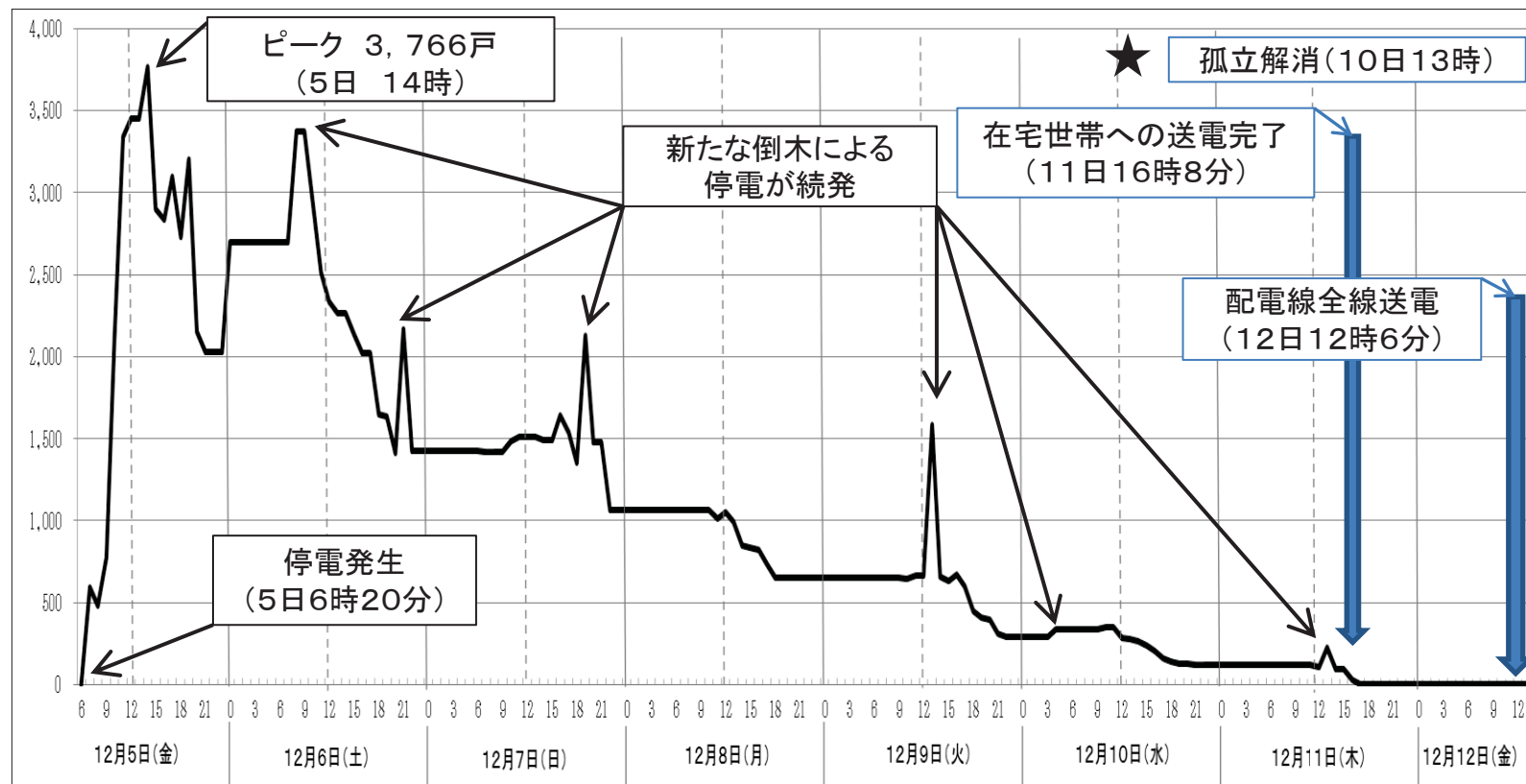


・山間部の樹間経由の配電線が、倒木、かかり木により多数箇所で損傷した。(電柱折損は、径間途中での高圧線への倒木が原因。)

2. 池田支店における停電復旧への取り組み状況

(1) 停電の状況

- この降雪に伴い、徳島県西部（当社池田支店管内：三好市、東みよし町、つるぎ町、美馬市）で延べ12.5千戸、全社では延べ14.2千戸（停電率0.7%）が停電した。
- 特に池田支店管内の一部山間地域では、豪雪による多数の倒木と積雪により、復旧のための道路啓開が難航を極めたこともあり、長期間（7日間）の停電となった。



2. 池田支店における停電復旧への取り組み状況

(2) 復旧作業従事人員の状況

- 四国4県から^(※1)最大約300人/日（延べ約1,200人）の応援要員を派遣して復旧にあたった。
また、^(※2)自衛隊による倒木除去・道路啓開応援は、孤立解消のための道路啓開に目途がたった9日以降に受けることができた。

※1 お客さまや自治体等の対応要員やバックヤードの要員を除く復旧作業従事人員

※2 平成26年3月6日自衛隊との連携に関する協定締結後初めての出勤要請を徳島県を通じて実施

(3) 具体的な復旧対応の状況

○ 巡視、道路啓開、配電設備復旧作業等の状況

- ・ 設備被害（事故原因）個所の早期発見のため、道路への積雪、多数の倒木の中、徒歩による巡視を敢行
⇒ 巡視に要する労力が増大

- ・ 自治体・自衛隊が啓開する主要道路以外で配電設備の復旧作業に必要な道路は、電力単独で除雪、倒木撤去を実施

（9日から11日の間は、陸上自衛隊の応援を得て除雪、倒木撤去）

⇒ 配電設備復旧作業に早期着手できない状況

※山間部の道路啓開は重機が使用できず、また、麓から順次啓開していくため、長期間を要することになった。

- ・ 復旧難航個所の在宅世帯については、小型発電機運搬・設置（47台）、燃料補給による応急送電を実施
- ・ 陸上自衛隊のヘリによる巡視、小型発電機運搬・設置を実施

(参考) 当社のホームページの動画サイトのご紹介

7

「徳島県西部で発生した雪害による停電への復旧対応について」を公開中

